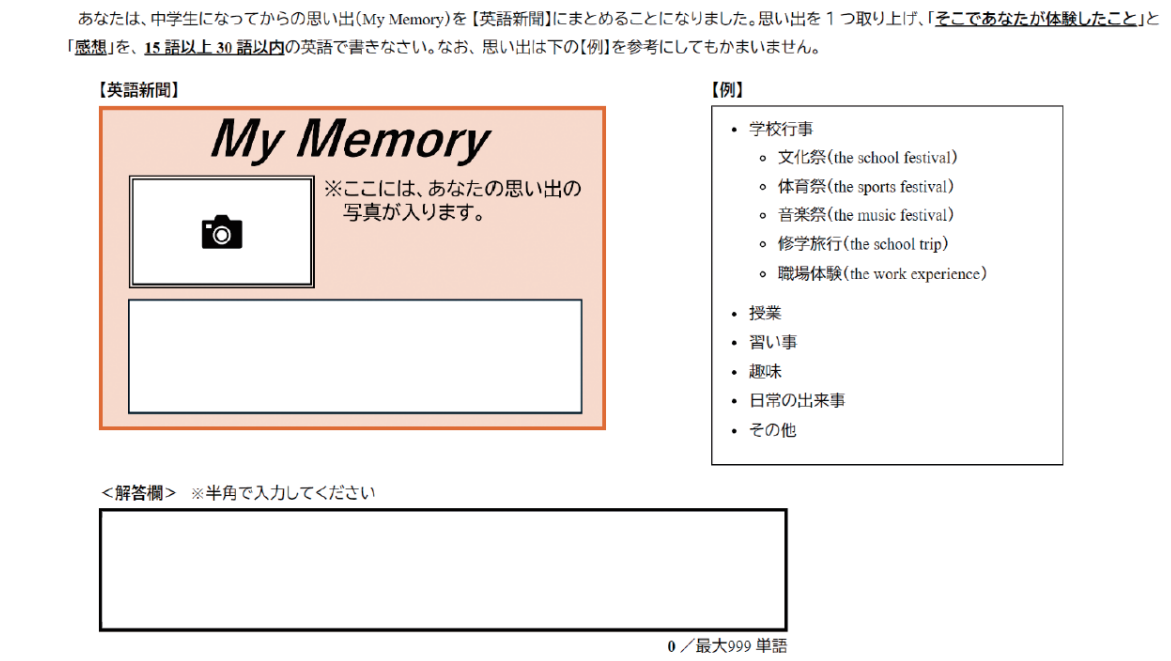
英語12　まとまりのある文章を書く



出題の趣旨

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

「まとまりのある文章を書く」とは、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書くことである。そのためには、「導入－本論－結論」や「主張－根拠や具体－主題の言い換えや要約」など、文章の構成を意識しながら、全体として一貫性のある文章を書くことが重要である。また、出来事や事実を描写したり、考えや感想を述べたりする場合において、よりよく読み手に伝わるよう意識しながら、自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を工夫して書き表すことも必要である。

英語12は、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかを把握するために、中学生になってからの思い出を１つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く問題とした。

■学習指導要領における目標

書くこと

イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

書くこと

(ｳ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
12			（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 条件①　15 語以上 30 語以内の英語で書いている。 条件②　中学校での思い出を１つ取り上げ、そこで体験したことを書いている。 条件③　条件②の感想を書いている。		
		1	条件①、条件②、条件③を満たして解答しているもの	23.7	◎
		2	文法事項など※に誤りがあるが、条件①、条件②、条件③を満たして解答しているもの	24.4	○
		3	条件①、条件②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	11.2	
		4	条件①、条件③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	3.7	
		5	条件①を満たし、条件②、条件③を満たさないで解答しているもの	3.0	
		6	10 語～14 語で解答しているもの	9.0	
		7	６語～９語で解答しているもの	8.8	
		8	１語～５語で解答しているもの	6.9	
		99	上記以外の解答　（日本語など）	0.7	
		0	無解答	8.6	

※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す

（N= 295,673 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 48.0%である。中学生になってからの思い出を１つ取り上げ、そこで体験したこととその感想を書く本問では、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。他の解答類型と比較すると、誤答の中では解答類型３の反応率が 11.2%と高い。

○　令和５年度【中学校】英語10では、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみるために、学校の英語版ウェブサイトに掲載する学校紹介文を書く問題を出題し、正答率は 7.7%であった。令和５年度【中学校】英語10では、 “Our school …” や “We …” といった主語を用いて、学校を紹介する文章を書くことに課題があった。英語12は、解答する生徒自身が体験したこととその感想を書く問題であったため、生徒にとっては比較的書きやすい内容であったと考えられる。

○　解答類型１の例

- I enjoyed the school trip in June. I went to Okinawa. I saw the beautiful ocean. It was great.
- My best memory is the music festival. It was exciting to sing a song. I had a beautiful time.
- My memory is the work experience. Many students said, "Thank you" to me. I felt glad.
- My memory is summer vacation. I stayed at my grandparent’s house. I was glad to see them for the first time in three years.

解答類型１に該当する生徒は、中学生になってからの思い出を１つ取り上げ、そこで体験したこと（条件②）とその感想（条件③）を書くことができている。このことから、日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができていると考えられる。

○　解答類型２の例

・My memory is the work experience. I work at a train station. It is very excited.
（動詞の活用の誤り）、（形容詞の誤り）
・My memory is the school trip because I enjoyed go to the（遊園地名）with a friend. The memory is the best in all. （動詞の活用の誤り）、（前置詞の誤り）

解答類型２に該当する生徒は、英語の表現に関して、所有格の誤り、be 動詞の誤り、形容詞の誤り、前置詞の誤り、動詞の活用の誤り、軽微な綴りの誤り、Because から始まる従属節の単独使用など一部不正確な表現は見られるが、読み手に伝わる表現で書いている。

※解答類型３以降は、語順の誤り、主語の誤り、一般動詞の欠落、条件に関する記述なし、内容の矛盾などがあるため、「条件②」または「条件③」あるいはそのどちらも満たしていないとしている。

○　解答類型３の例

・My memory is the music festival. I sang a song. I was win the festival in my class.
・My memory is the work experience. The work experience is we are need and is very enjoyed.

解答類型３に該当する生徒は、中学校での思い出を１つ取り上げ、そこで体験したこと（条件②）を書いているが、その感想（条件③）を書くことはできていない。

○　解答類型４の例

・My memory is went to school to play volleyball game. I won. It was very fun.
・The work experience, I worked in library. I was hard, but I was excited.

解答類型４に該当する生徒は、中学生になってからの思い出について体験したこと（条件②）を書くことはできていないが、その感想（条件③）を書くことはできている。

○　解答類型５の例

・I want to the school festival. I want to the sports festival. I want to the school trip.
・I am remember the school festival. Because I excited watching movie. I love remember best.

解答類型５に該当する生徒は、中学生になってからの思い出について、体験したこと（条件②）とその感想（条件③）を書くことができていない。

○　解答類型６の例

・My memory is the school trip. I was very enjoyed.
・The music festival is very good because I sing beautiful song very much.

○　解答類型７の例

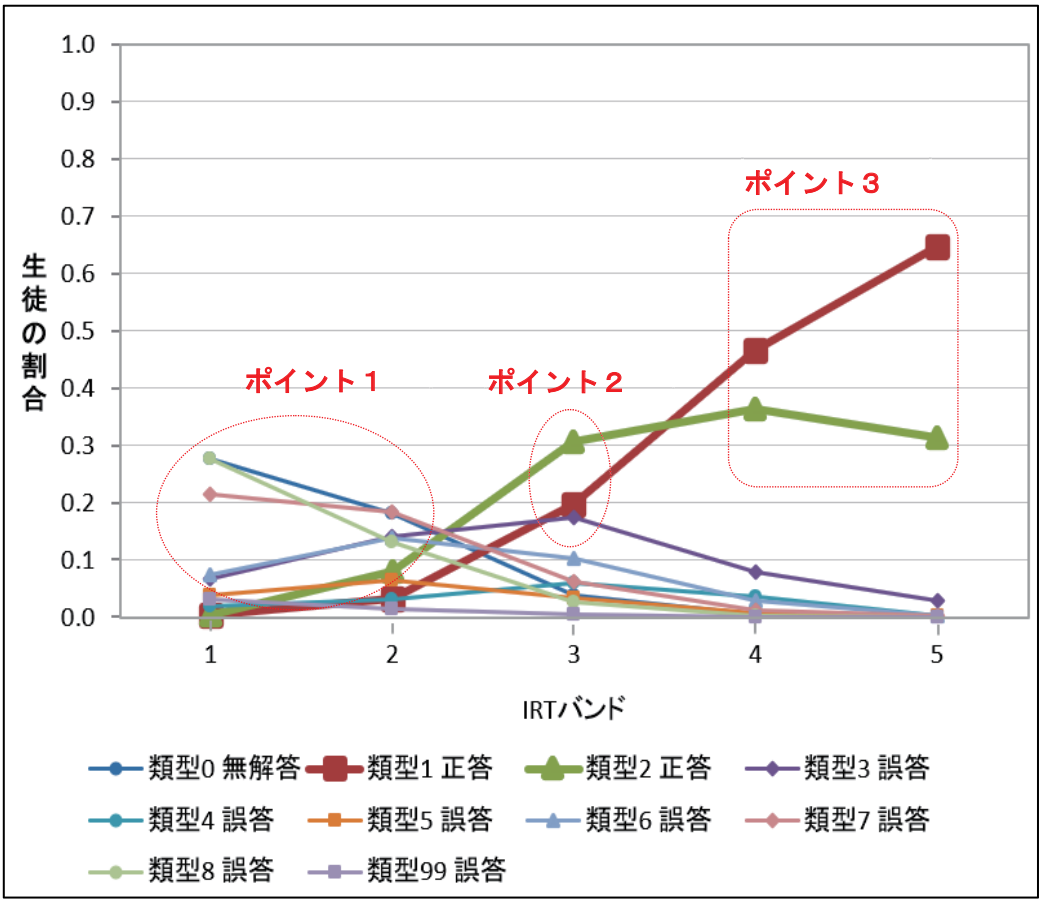
・My memory is the school trip.
・I am enjoy the music festival.

○　解答類型８の例

・My memory the sports festival.
・the sports festival

解答類型６～８に該当する生徒は、語句または１文、２文のみで書いている。書く内容が思い浮かばなかった、あるいは書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかったことが考えられる。

○IRT バンド別類型割合グラフ



○IRT バンド別類型割合グラフから分かること

・ポイント１について

IRT バンド１に属する生徒の約３割が無解答、約３割が解答類型８、２割以上が解答類型７、約１割が解答類型６に分類されており、合計で約８割の生徒が 15 語以上の英語で書くことができていない。また、IRT バンド２に属する生徒の約２割が無解答、１割以上が解答類型８、約２割が解答類型７、１割以上が解答類型６に分類されており、合計で約６割の生徒が 15 語以上で書くことができていない。書く内容が思い浮かばなかった、あるいは書く内容は思い浮かんだが英語の表現が思い浮かばなかったなどの可能性が考えられる。指導に当たっては、短い文章を読む活動を充実させ、読んだ文章から参考になりそうな内容や表現を選んで書かせたり、書く前にテーマについて事実や自分の考え、気持ちなどを整理させたりすることが考えられる。 【p.108「学習指導に当たって」(１)(２)】

・ポイント２について

IRT バンド３に属する生徒の約２割が正答となる解答類型１、約３割が解答類型２、約２割が誤答となる解答類型３に分類されている。解答類型３は体験したことは書くことができており、その感想として何かしらの英語を書いてはいるが感想と捉えることができない内容が書かれていたり、コミュニケーションに支障をきたす誤りが見られたりする。指導に当たっては、文と文とのつながりなどに注意し、代名詞や接続詞を正しく用いて、読み手に伝わる表現で感想を書かせることが考えられる。 【p.108「学習指導に当たって」(３)】

・ポイント３について

IRT バンド４に属する生徒の約８割、および IRT バンド５に属する生徒の９割以上が、正答である解答類型１、２に分類されており、おおむねの生徒が中学生になってからの思い出を１つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書くことができていると考えられる。